

質問ピックアップ ～参加者からの質問にパネリストが答えました～

Q:女性の少ない理系分野への進学に不安はありませんでしたか？

Answer：自分自身はあまり不安には思っていませんでしたが、女子高に在学していたというもあり、大学入学前は「大丈夫？」と周りに心配されました。実際入学してみると最初は戸惑うこともありましたが次第に慣れ、楽しく大学生活を過ごすことができました。

Q:数学は苦手ですが物理は好きです。数学が苦手でも理系に進むことはできますか？

Answer：嫌いじゃなければ大丈夫です。理系を選択したからといってずっと数学をするわけではなく、理系分野の中にも数学をあまり使わない分野など、様々な専門分野があります。数学が苦手だからといって嫌いにならず、これをやりたいという目標に進んでいって欲しいと思います。

参加者情報

- 参加者数 152人
- 年齢層 ●中学生 20% ●高校生 26% ●保護者 43% ●教員 3% ●その他 6%
- 男女比 ●女性 57% ●男性 31% ●無回答 12%

参加者のご意見・ご感想

- 自分は数学と理科が得意なのですが、どんな方面にどんな仕事があるのかもっと知りたいと思った（中学生）
- セミナー参加前よりも理工系分野に進学したいと思うようになった（高校生）
- 大学の学部等や詳しい仕事内容、職場の雰囲気などを写真付きで紹介してくれたので、とても参考になった（保護者）

日本女性技術者フォーラム（JWFEF）

日本女性技術者フォーラム（JWFEF）は、女性技術者同士の交流や相互研鑽、社会貢献を目的に活動している団体です。その一環として、自分たちの経験を生かし、これからの科学技術を担う世代の育成・応援にも取り組んでいます。本セミナーは、日本女性技術者フォーラムに企画協力のほか、下記の方々にモデレーターやコメンテーターを務めていただきました。



理工系は無量大

～女性技術者に聞いてみよう！2022@横浜～

テーマ「私が理工系の道を選んだ理由」

令和4年度 開催報告書

- 日時 2022年11月13日(日)13時30分～15時30分
(Zoomウェビナーによるオンライン開催)
- 主催 横浜市政策局男女共同参画推進課
- 協力 日本女性技術者フォーラム(JWFEF)



進路を考える中高生が理工系分野に興味や関心を持つきっかけとするために、オンラインセミナー「理工系は無量大∞～女性技術者に聞いてみよう！2022@横浜～」を開催しました。

企業で活躍している女性技術者と理工系分野を学ぶ大学生から、進路選択について、仕事について、ワーク・ライフ・バランスについてなどたくさんの"リアル"なお話をいただきました。

横浜市 政策局

テーマ ①こんな仕事をしています ②どんな学生時代だった? ③チャレンジ&メッセージ



神奈川大学
修士1年

大山 奈桜さん

—専攻—
工学研究科 電気電子情報工学領域

—現在勉強している内容—
電気・電子・通信などに関する内容を幅広く学んできました。
現在は研究室に所属し、振動を用いてDNAを増幅する方法(PCR法)を研究しています。

②中学生の頃は、数学だけでなく社会も好きでした。高校に入ってから世界史が苦手を感じるようになってしまい、次第に理系分野が好きになってきたと感じています。
大学を選ぶ時は、高校生時代にWi-Fiに興味があったことから、通信系や電気系が学べる大学に進みたいと思い、電気科のある大学を受験して、現在の神奈川大学に入学しました。大学では、通信系やプログラミングよりも電子回路や電気回路の授業のほうが面白いと思い、最終的には半導体工学研究室を選びました。

③自分自身は現在就職活動中で、医療機器の開発などに関わればと思っています。
「女性だから」のように、属性によって誰かから何か言われることもあるかと思っています。私もよく耳にします。ですがそれは何気なく使われてしまう言葉なので、気にせず自分のやりたいことを突き進んで下さい。



日本IBM株式会社
金融第二事業部

榎 美紀さん

—学生時代の専攻—
理学部 情報科学科

—仕事内容—
入社当初から研究所にて培った人工知能などのITの最新技術の知識をもとに、現在は金融業界のお客様が抱えているITの課題に対して、どのようなアーキテクチャで解決できるかを提案する仕事をしています。

①(研究職の仕事をメインにご紹介) 研究職というと実験のイメージが強いと思いますが、IT系はそこまで実験は多くありません。研究所では、皆さんがよく触れるAIをさらに進化させて、難しい会話ができるような開発をしています。

②私は理学部の情報科学科で、元々が数学科から派生した学科なので、数学の授業が多くありました。私の大学は教員免許を取る人が多くて、私も友達につられて教員免許を取得しました。

③今後の目標としては、実際に研究所で作っている新しい技術を、世の中に直接届けていきたいと思っています。
皆さんのこれからの将来は、様々な選択肢があるかと思うので、自分の興味があるものは何なのか、色々な選択肢を選ぶように、アンテナを広げていってください。



日清食品株式会社
マーケティング部

天野 真希さん

—学生時代の専攻—
工学部 化学・生物工学科

—仕事内容—
現在は日清食品のマーケティング部でデジタルマーケティングをしています。
また、以前は冷凍食品・チルド食品の商品開発(味の開発)担当として、世の中に「美味しい」を届けるために励んでおりました。日々の業務において、大学で学んだ理工系の知識がとても役立っています！

①(開発の仕事を中心に紹介)お客様に美味しい笑顔をお届けするため、日々、味の研究やレシピ開発をしています。研究所は女性が少ないと思われがちですが、働いていて女性が少ないと思ったことはありません。女性をターゲットにした商品も多いため、女性が活躍できるシーンが多く見られます。

②大学時代は化学生物工学科に所属をしていて、いわゆるザ理系。皆さんが思い浮かべるような白衣を着て安全メガネをかけてフラスコを振るみたいなコースに進みました。
勉強以外に部活やアルバイトにも力を入れていました。

③今後チャレンジしたいことは、世の中の皆さんを笑顔にできるような商品開発をしていきたいと思っています。
自分自身も過去を振り返ってみると、悩むタイミングはたくさんあって、皆さんも不安になることがあるかと思っています。自分が何にワクワクするかを日頃から考えてみてください。



コニカミノルタ株式会社
情報機器開発本部
材料要素技術開発センター

本橋 亜美さん

—学生時代の専攻—
工学部 システム化学工学専修

—仕事内容—
産業用プリンターに使われるインク(トナー)の開発をしています。
「印刷でお客様にどんな価値を提供できるか」を念頭に気さくな開発メンバーとともに活発に取り組んでいます。
化学以外の分野との交流や面白い技術の発見は楽しいです！

①私の仕事は産業用プリンターのカラートナー開発です。商品化されるまでには、実験室での少量のテストから、工場で大規模生産した際にも同じ色が出せるかの実証が必要で、うまくいくまでには薬品の配合を変えたりと、何度も試行錯誤を繰り返しています。

②高校生の時に理系科目が得意だった背景があり、また、国語は昔からできなかったことから、理系選択しかないということと、化学は就職に役立つだろうといった軽い気持ちで大学に入学しました。学生時代は、サークルを掛け持ちしており、化学科の男女比は7対3くらいでした。

③自分で見つけた価値にこだわりつつ、ものづくりで自分が携わった製品を世の中に出したいと思っています。
「これ気になる」くらいの興味で構わないので、好奇心を大事にして欲しいのと、人との繋がりも大切にして欲しいです。